

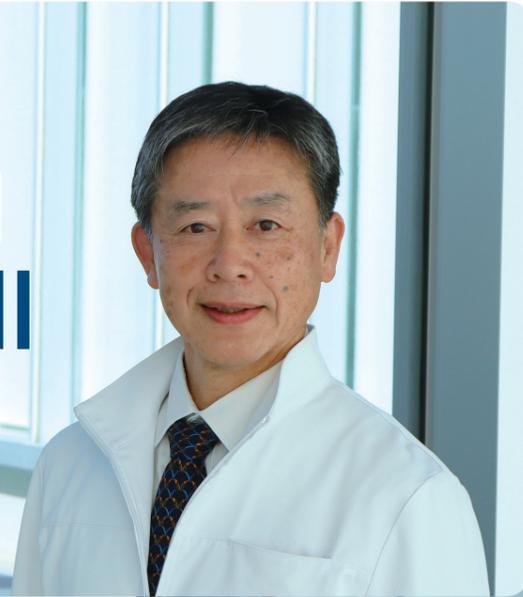


消化器外科

SHOICHI FUJII

藤井 正一

外科統括部長 下部消化管外科部長



INTERVIEW

長年にわたって消化器外科の発展に携わり、  
腹腔鏡手術の有用性を研究。

ごあいさつ

こんにちは。2023年12月から外科に赴任いたしました藤井正一と申します。東京生まれ、栃木・群馬育ち、高校は埼玉の熊谷高校、大学は鹿児島大学で6年間を過ごしました。大学卒業後、初期研修は横浜市立大学で行い、そのまま同大学消化器・腫瘍外科(旧第2外科)教室に入り研鑽を積みました。その後、帝京大学、国際医療福祉大学を経て、縁あって湘南鎌倉総合病院にお世話になりました。



消化器外科医として経験した出来事

Experience

専門は消化器外科で大腸がん診療に長く携わってきました。これまで経験した外科の世界の大きな出来事は内視鏡外科の発展です。従来は患者さんの身体に十分な大きさの切開を行い、外科医がお腹の中を直接視て触って手術しました。もちろん、今もそれは脈々と受け継ぎ伝承すべき大事な技術です。そこに内視鏡外科という新しい手技で、私の専門はお腹なので腹腔鏡手術といいますが、これが急速に発展しました。腹腔鏡手術とは、数か所の5~10mmの小さなきずから高精細カメラで体内を観察し、モニターを見ながら専用器具で病変の治療を行います。大腸手術では臓器を取り出す最小限の4~5cmの小切開をします。患者さんの術後経過の違いは明らかで、痛みの軽減や入院期間、職場・社会復帰期間の短縮につながりました。

私が新米であった1990年代初頭では、多くの病院は胆石症手術に腹腔鏡を導入し始めた状況でしたが、現在では胆石症ではほぼ100%、大腸癌でも80%以上は腹腔鏡手術で行われています。横浜市立大学では腹腔鏡手術を大腸がん比較的早く導入し、私も1990年代後半には関連施設で多数の執刀をしました。横浜市立大学では腹腔鏡手術手技の開発・研究に携わりました。特に日本臨床腫瘍グループ(JCOG)という先進的施設が共同で行う臨床研究に参加し、腹腔鏡手術の有用性を研究してきました。

Thinking 今後の消化器がん外科診療について思うこと

消化器がんに対して今ではまだ手術が有効であることは間違いありませんが、手術だけでは限界があります。

どんなに世界の名人が手術しても再発があること、手術だけでは治せない症例はたくさんあります。近年は化学療法、すなわち抗がん剤治療の進歩は目覚ましく、以前なら手術できなければ緩和治療しか選択肢がなかった患者さんが、化学療法で永く生存できるようになってきました。新しい薬剤も次から次へと登場しています。さらに直腸がんでは放射線治療も併用し治療成績の向上につながっています。このような手術以外の治療法を組み合わせることを集学的治療といいます。今後、集学的治療がさらに発展していくことと思います。腹腔鏡手術にもロボット支援手術が登場し、人

間の手よりも精度の高い手術ができるのではないかと期待が高まっています。当院も2023年に導入し、まだ症例数は少ないですが、将来は大きく発展する可能性を秘めています。

しかし、最も大切で忘れてはいけないことは、患者さんはひとりの「ひと」であることです。ただ単に延命だけを目標とする治療で患者さんが苦痛を感じてしまうこと、想像していたよりもよくない結果になってしまうことは避けなければいけません。もちろん、命を永らえること以上の大切なことはあるのか、それが何であるか、何が正解であるかは、患者さんそれぞれのお考え、倫理観によるものだと思います。常にそれを肝に銘じ診療に携わっていきたいと思います。



略歴 Profile

- 1988年 鹿児島大学医学部卒業  
横浜市立大学附属病院で初期研修
- 1990年 横浜市立大学消化器・腫瘍外科(旧第2外科)教室に入局
- 2000年 横浜市立大学市民総合医療センター消化器病センター 助手
- 2004年 横浜市立大学消化器・腫瘍外科(旧第2外科)講師
- 2005年 横浜市立大学市民総合医療センター消化器病センター 准教授
- 2013年 帝京大学外科下部 消化管外科講師
- 2016年 国際医療福祉大学市川病院 消化管外科教授
- 2023年 湘南鎌倉総合病院 外科統括部長  
下部消化管外科部長

# 新春特別市民公開講座 開催しました!

2024年  
1月13日  
土

講演

## 1月13日「新春特別市民公開講座」が 当院講堂にて開催されました。

二部構成で、一部では病院長の小林修三による講演、二部では病院見学ツアーが行われました。小林院長による講演の演題は「新年のご挨拶 ～医療の現状と課題～」で、大勢のご来場の方々が真剣に耳を傾けていらっしゃいました。二部の院内見学ツアーでは、普段はなかなか見ることのできない施設を見学することができました。

▲小林院長による講演  
「～医療の現状と課題～」

## 院内見学ツアー

陽子線治療室



▲がんの先端医療の1つである陽子線治療。近年注目を浴びていますが、その室内も見学できました。見学された方々も、その規模にびっくりされた様子。

リハビリテーション  
センター

▲身体の回復に欠かせないリハビリテーション。リハビリテーションセンターでは様々なリハビリ器具が設置されており、スタッフが丁寧に説明してくれました。

手術室

▲減多に入ることができない手術室。専用の手術器具も並べられ、実際に手に取ることができました。たいへん貴重な機会となりました。

ここ最近、病院で起こった出来事やトピックをご紹介します。

## しょうかまダイジェスト

### ヨーロッパ品質研究協会 (ESQR) 「Quality Achievements Awards」× 受賞

2023年12月10日、湘南鎌倉総合病院はスイスに本部があるヨーロッパ品質研究協会 ESQR (European Society for Quality Research) 2023の Quality Achievements Awards を受賞しました。

ドバイで行われた授賞式では質の向上に努めて来た医療、教育、企業、政府などの受賞施設代表（世界41カ国51施設）が順番に5分間のスピーチを行いました。院長の小林はスピーチの際、病院施設紹介と24時間救急車を断らない徳洲会の旗艦病院として弱者を置き去りにせず先端医療を行っている約2,000人の職員代表として名誉な賞を受けたことに対する感謝と今後のたゆまない努力を誓いました。今回、日本からは九州大学病院などが医療機関として受賞、その他製薬ベンチャー企業や製造会社などが受賞いたしました。なお、これまでに日本国内の医療機関として済生会熊本病院と聖路加国際病院、藤田医科大学病院が受賞しており、他業種ではANA やヤマト運輸なども受賞しております。

式後のディナーパーティーでは、様々な国の代表（タイ、ミャンマー、イラン、ハンガリー、ケニア、ブラジル、ヨルダン、スロベニアなど）が集まり国際色豊かに執り行われました。

他国ではスロベニアの発達障害の子どもの施設や、教育機関による質の向上など多彩な理由、多彩な施設での受賞が目されました。



### 台湾 新光呉火獅記念病院との 覚書締結

湘南鎌倉総合病院は、2023年12月18日に台湾の新光呉火獅記念病院（以下、新光病院）と覚書の締結をしました。締結した内容は以下の3点です。

- ①患者さんの相互紹介
- ②医療従事者および非医療従事者のトレーニングを含む人材の相互交流
- ③医療セミナーや教育プログラムなどの共同開催

IT技術を導入したスマートホスピタル化が進む新光病院と陽子線治療やBNCT（現在準備中）を使用した放射線機器を所有する当院が連携し、両病院の更なる発展を目指します。





# 患者さんへのお知らせ



日頃より、代表電話が繋がりにくい状況が続き、ご迷惑をおかけしております。昨年2月にWebでの予約変更・キャンセル申込みを開始し、同年6月には予約専用ダイヤルを設置しました。状況は改善したものの依然としてご不便をお掛けしている状況が続いておりましたので、この度、自動音声電話を用いた予約専用ダイヤルを開設する運びとなりましたのでお知らせいたします。詳細につきましては、以下をご確認ください。

## 2024年1月より

### 自動音声電話で予約申込を開始しました。

# 050-1809-3056

	自動音声電話 050-1809-3056	予約専用ダイヤル 0467-84-8922	WEB/LINE
受付時間	月~金 8:00~19:00 土 8:00~13:00	月~金 13:00~16:30	24時間365日
予約変更	○	—	○
予約キャンセル	○	—	○
定期受診予約	○	—	○
新規予約	—	○	—
予約確認	—	○	—



- 自動音声電話、WEB、LINEでお申込みいただいた際は**3診療日以内**に担当よりご連絡いたします。(キャンセルを除く)
- 電話混雑を緩和するため、ぜひ自動音声電話、WEB、LINEをご活用下さい。何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



LINE公式アカウントはこちら!



# Kidney Health For All

Advancing equitable access to care and optimal medication practice

World Kidney Day #worldkidneyday #kidneyhealthforall www.worldkidneyday.org

World Kidney Day is a joint initiative of ISN KKF-WKA

「世界腎臓デー (World Kidney Day)」は、国際腎臓学会と腎臓財団国際協会が共同で提案し、2006年に始まった国際的な記念日です。

日頃から腎臓の大切さを意識してほしい!と願い、世界中でさまざまなイベントが行われています。鎌倉でも開催いたします。

大切な腎臓~守るために今日からできること~

## 第5回 世界腎臓デー in 鎌倉

入場無料

開催日 **3/14 木**  
13時より開演

場所 鎌倉芸術館 小ホール

